

番号	質問の要旨	質問に対する回答
1	都市計画には和泉川・帷子川・相沢川・大門川などの源流を保全する計画はあるのか？ 暗渠化等の計画には反対。	本事業は、農業振興と都市的土地利用を行う土地を集約し、農業基盤や道路などの都市基盤の整備を一体的に進めるため、事業実施区域全域について土地の改変を行います。そのため、相沢川、大門川については、事業の実施に伴い改修等を行う可能性があります。具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。 頂いたご意見については、関係部署と共有し、検討の参考とさせていただきます。
2	コロナを考慮した計画になっているのか？ 既定方針は決まっているように思える。	本地区は、米軍施設として利用されてきたため、戦後約70年間にわたり、土地利用が制限されてきました。地権者の皆さまの生活再建を行うとともに、将来のまちづくりに必要な基盤整備を、2027年の国際園芸博覧会を目指し、早期に行っていく必要があります。 今後も社会情勢を踏まえるとともに、地権者や市民の皆様の意見を伺いながら、当地区のまちづくりに引き続き取り組んでいきます。
3	計画を知りたい。	令和2年2月5日から22日にかけて実施した「旧上瀬谷通信施設地区における土地区画整理事業区域の都市計画決定に向けたオンライン説明会」においても、まちづくりの方針や土地利用の考え方をご説明しましたが、平成27年6月に米軍から返還された区域を基本とする248.5ヘクタールについて、土地区画整理事業の都市計画決定を行いたいと考えています。今後、具体的な基盤整備等について詳細な検討を進める中で、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。 なお、本地区におけるまちづくりの方針や土地利用の考え方等については、以下のホームページに「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」を掲載していますので、あわせてご覧ください。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/toshiseibi/jokyo/sonota/kamiseya/kamiseysa.html
4	土地区画整理事業後も「農地ゾーン」を農用地区域に指定することにより、建築規制など無秩序な開発が行われないようにすべき。 農業ゾーンの土地利用規制が十分示されておらず、素晴らしい自然環境が失われる可能性がぬぐえない。	令和2年3月に策定した土地利用基本計画において、4つのゾーンを配置することを基本方針とし、この中で、営農を希望する地権者を中心に新たな都市農業を行うエリアとして「農業振興ゾーン」を配置することとしています。 また、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けており、地区全体において、自然環境をいかした土地利用の検討を進めていきます。 土地区画整理事業区域の建築に関する制限等については、頂いたご意見も参考にしながら関係部署と検討を行います。
5	感染症流行を考慮すべきだと考える。 感染症に対応した大病院をつくるべき。	旧上瀬谷通信施設については、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていきます。 医療施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等を踏まえ、その必要性も含め検討を進めていきます。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。
6	土壌汚染の除去計画は進んでいるのか。 物流ゾーンの経済効果は。 観光・賑わいゾーンは、豊かな自然を壊すことにならないか。 瀬谷にテーマパークを作ることの利点はあるのか。	土壌汚染状況については、当該地区の返還後、国（防衛省）が調査を行いました。その調査結果を踏まえ、本市としては、国により汚染拡散防止策並びに原状回復措置が行われるよう、要望をしております。 なお、国との協議により、土地区画整理事業で対策を実施する可能性もありますが、その場合においては、土壌汚染対策法に基づき適切な手続きを経た上で、工事を行います。 旧上瀬谷通信施設地区は、広域での交通利便性の良さや首都圏でも貴重な広大な土地であるといった本地区のポテンシャルを最大限に生かした土地利用についてこれまで検討を進めてきました。 また、本地区の約45%の土地を所有する地権者の皆様が設立したまちづくり協議会においても、農業振興と土地活用について検討が進められ、「賑わい、集客力、人を呼び込む」ことを土地利用の方向性とし、テーマパークの誘致を中心に検討をさらに深度化していくこととしています。 こうした経緯に加え、令和2年1月に行った市民意見募集や説明会での市民の皆様からの意見及び要望を踏まえ、令和2年3月に本地区におけるまちづくりのコンセプトや土地利用の方向性などを示した土地利用基本計画を策定しました。 本計画では、農業振興ゾーン、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、公園・防災ゾーンを設定し、各ゾーンが連携することにより「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしています。 このうち、観光・賑わいゾーンについては、地権者の皆様が検討を深度化してきたテーマパークを中心とした土地利用を計画していますが、これは本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、中期4か年計画等の上位計画に定めた本市のまちづくりの方向性にも合致していると考えられ、土地利用基本計画においても「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を図っていくためのゾーンとして位置付けています。 また、土地利用基本計画では、都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことをまちづくりのコンセプトとしており、今後も自然環境をいかした土地利用について検討を進めていきます。 なお、物流ゾーンの経済効果等については、今後、事業が具体化していく中で検討を行っていきます。

7	<p>花博とテーマパークの誘致ありきの都市計画決定に反対します。</p> <p>横浜市民の民意をいつ問うのか。</p> <p>横浜市民が、このコロナ禍で、花博とテーマパークを望んでいるという事実があるのか。</p>	<p>本市では、これまでに地権者の皆様と意見交換を行うとともに、令和2年1月に行った市民意見募集や説明会での市民の皆様からの意見及び要望を踏まえ、令和2年3月に本地区におけるまちづくりのコンセプトや土地利用の方向性を示した土地利用基本計画を策定し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしています。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会では、本地区の将来像を見据えながら農業振興と土地活用について検討が行われ、テーマパークを中心とした土地活用について検討をさらに深度化していくこととしており、これは本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、中期4か年計画等の上位計画に定めた本市のまちづくりの考え方に合致していると考えられ、令和2年3月に策定した土地利用基本計画においても、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を図っていくこととしています。</p> <p>また、本地区はこれまで米軍施設として利用され、戦後約70年間にわたり土地利用が制限されてきたことから、地権者の皆さまの生活再建をとともに、将来のまちづくりに必要な基盤整備を、2027年の国際園芸博覧会を目指し、早期に行っていく必要があります。</p> <p>今後も社会情勢を踏まえ、地権者や市民の皆様を伺いながら、郊外部の新たな活性化拠点の形成に資するまちづくりについて引き続き取り組んでいきます。</p>
8	<p>敷地の半分である125haを観光・賑わいゾーンとすることに反対します。</p> <p>花博を行うことに強く反対致します。</p> <p>自然そのままが一番美しいと考えます。</p> <p>花博・テーマパークを止める法的余地について教えてください。</p> <p>国立公園の設置、里地里山のあるまちづくりを希望します。</p> <p>市民が参加したまちづくりを行い得る法的余地について教えてください。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど非常に高いポテンシャルがあり、これまでに地権者の皆様と意見交換を行うとともに、令和2年1月に行った市民意見募集や説明会での市民の皆様からの意見及び要望を踏まえ、令和2年3月に本地区におけるまちづくりのコンセプトや土地利用の方向性を示した土地利用基本計画を策定し「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>令和2年3月に策定した土地利用基本計画において、4つのゾーンを配置することを基本方針とし、この中で観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。他にも、国有地を活用して公園や防災施設等を整備する公園・防災ゾーンや、現在のまとまりある農地を活用した農業振興ゾーンを配置するなど、都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことをまちづくりのコンセプトとし、自然環境をいかした土地利用の検討を進めていきます。</p> <p>本地区では、基盤整備の促進、国内外への地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先導的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の開催に向けて検討を進めております。</p> <p>本博覧会では「未来の里山」をコンセプトとし、里山に培われた思想や人と自然の共生のあり方などを、上瀬谷の自然特性を生かしながら展開するとともに、本博覧会の開催後は、公園をはじめ本地区全体でそのレガシーを継承・発展していきます。</p> <p>今後も事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
9	<p>持続可能な都市を実現するにあたっての実験的な試みが今回の計画に含まれておりますでしょうか？</p> <p>先進的な街づくりを試みるべきだと思います。</p>	<p>旧上瀬谷通信施設地区における土地区画整理事業区域の都市計画決定に向けたオンライン説明会で説明させて頂いている土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な基盤整備等については、今後、検討していきます。</p> <p>頂いた実験的な試みなどのご意見については、関係部署と共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>「都市計画」については「施行区域及び公共施設や宅地の概ねの配置の考え方を定める」とのことですが、土壤汚染の状況については全く周知・勘案されておらず、それを前提として検討すべき。</p> <p>土壤汚染がある土地を農地にすることは健康被害の観点から容認できない。</p> <p>2027年の花博に間に合わせることを先行して、土壤汚染の改善をないがしろにすることは看過できない。</p>	<p>土壤汚染状況については、当該地区の返還後、国（防衛省）が調査を行いました。</p> <p>調査結果を踏まえ、本市としては、国により汚染拡散防止策並びに原状回復措置が行われるよう、要望をしております。</p> <p>なお、国との協議により、土地区画整理事業で対策を実施する可能性もありますが、その場合においては土壤汚染対策法に基づき適切な手続きを経た上で、工事を行います。</p>
11	<p>海軍道路の桜並木は横浜市民の財産です。</p> <p>桜並木を残した上での都市計画の策定をするべく、桜並木の伐採に反対する横浜市民がどの位いるのか回答してください。伐採をやめる可能性があるのか回答してください。</p> <p>伐採を必ず行い得る法的根拠について教えてください。</p>	<p>これまでの説明会等で桜に対する意見はいただいておりますが、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。令和2年度には桜の樹木調査を実施しており、今後、調査結果も参考にしながら、新たな桜並木の創出等、対応方針について検討していきます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署と共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

12	<p>土地区画整理事業には周辺道路の整備も含まれているのか。</p> <p>海軍道路は時間帯によって大変混雑し、海軍道路から瀬谷柏尾線へ抜ける道路も幅員が狭く、生活道路としても危険性もあるため対応を知りたい。</p> <p>上瀬谷小学校前の道路は通学路となっているが、トラックなどの大型車もスピードを出して通行しており、歩道もない道路を通学路として使用することが心配。</p>	<p>今回、土地区画整理事業を行う都市計画決定区域には、旧上瀬谷通信施設地区に隣接する西側の道路なども取り込み、通学路等への歩道の設置など、道路改修も含め一体的に整備していくことを検討しています。</p> <p>また、既成市街地を含む周辺地区の交通利便性の向上を図りながら、旧上瀬谷通信施設の土地利用転換に伴い想定される交通需要に対応し、横浜市郊外部の新たな活性化拠点の形成に資する交通ネットワークの整備が必要と考えています。</p> <p>そのため、最寄りの相模鉄道本線瀬谷駅を起点とした新たな交通の導入と、周辺道路の機能強化について検討しています。</p> <p>新たな交通としては、土地利用転換に伴い見込まれる交通需要や線形条件等を総合的に勘案し、定時性・安定性を確保することが可能な新交通システムを選定し、検討を進めています。</p> <p>また、周辺道路機能強化策として、旧上瀬谷通信施設内の環状4号線及び市道五貫目第33号線（八王子街道）の拡幅や、瀬谷地内線の未整備区間の整備を予定しています。あわせて、旧上瀬谷通信施設内において新たな道路の整備を行うことにより、道路ネットワークを形成し、周辺道路の混雑緩和や交通の分散を図ります。</p> <p>なお、新たな交通と周辺道路の整備にあたっては、今後、市民の皆様のご意見を伺いながら都市計画等必要な手続を進めていきます。</p>
13	<p>博覧会やテーマパークができると、海軍道路が渋滞し、柏尾線へ車が流れてくる。</p> <p>柏尾線は歩道がほとんど整理されておらず、柏尾線の拡幅と歩道の整備もして欲しい。</p>	
14	<p>当該区域への公共交通機関のアクセス及び整備の計画はどのようになっているか。公共バスや鉄道などによって当該区域へのアクセスがしやしくないと、区域の活性化には至らないと思う。</p>	
15	<p>土地区画整理事業に伴って整備する道路計画の説明をもっと丁寧に行ってほしい。</p> <p>周辺の住民生活に一番影響を与えるのは、道路交通環境だと思っている。</p> <p>こういうことを説明してほしい。</p> <p><環状4号線></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環状4号線沿いの2つの信号機交差点（上瀬谷小へ至るT字交差点、消防瀬谷出張所前のT字交差点）はどうか ・環状4号線は拡幅しないのか ・環状4号線沿いの桜並木の伐採をしないのか ・新交通システムの新駅と道路の関係 <p><新しく計画される道路></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅員 ・交差点の新設有無 	
16	<p>コロナ後の社会で、超高齢化の社会で、花博・テーマパークは望まれておりません。</p> <p>花博・テーマパークの誘致に強く反対します。</p> <p>鉄道誘致に賛成している市民がどの位いるのか根拠を教えてください。</p> <p>鉄道建設を必ず行い得る法的根拠について教えてください。</p>	<p>既成市街地を含む周辺地区の交通利便性の向上を図りながら、旧上瀬谷通信施設の土地利用転換に伴い想定される交通需要に対応し、横浜市郊外部の新たな活性化拠点の形成に資する交通ネットワークの整備が必要と考えています。</p> <p>そのため、最寄りの相模鉄道本線瀬谷駅を起点とした新たな交通の導入と、周辺道路の機能強化について検討しています。</p> <p>新たな交通としては、土地利用転換に伴い見込まれる交通需要や線形条件等を総合的に勘案し、定時性・安定性を確保することが可能な新交通システムを選定し、検討を進めています。</p> <p>また、周辺道路機能強化策として、旧上瀬谷通信施設内の環状4号線及び市道五貫目第33号線（八王子街道）の拡幅や、瀬谷地内線の未整備区間の整備を予定しています。あわせて、旧上瀬谷通信施設内において新たな道路の整備を行うことにより、道路ネットワークを形成し、周辺道路の混雑緩和や交通の分散を図ります。</p> <p>なお、新たな交通と周辺道路の整備にあたっては、今後、市民の皆様のご意見を伺いながら都市計画等必要な手続を進めていきます。</p> <p>本市では、これまで地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様に意見及び要望を伺いながら土地利用の方向性等について検討を進め、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしています。</p>

<p>地権者が設立したまちづくり協議会では、本地区の将来像を見据えながら農業振興と土地活用について検討が行われ、テーマパークを中心とした土地活用について検討をさらに深度化していくこととしており、これは本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、中期4か年計画等の上位計画に定めた本市のまちづくりの考え方に合致していると考えられ、令和2年3月に策定した土地利用基本計画においても、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を図っていくこととしています。</p> <p>また、本地区において、基盤整備の促進、国内外への地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先導的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の開催に向けて検討を進めております。</p> <p>本博覧会では「未来の里山」をコンセプトとし、里山に培われた思想や人と自然の共生のあり方などを、上瀬谷の自然特性を生かしながら展開するとともに、本博覧会の開催後は、公園をはじめ本地区全体でそのレガシーを継承・発展していきます。</p> <p>今後も事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
